

師走に入りました。今年もあと一か月と思うと、どこか気ぜわしい気持ちになりますね。また、この時季になるとクリスマスの話題が聞かれはじめます。クリスマスとは、イエス・キリストの「降誕祭」です。新約聖書では、キリストの生まれた日を特定はしていません。そのため、降誕祭とは「キリストの誕生日」ではなく、「キリストが生まれてきたことをお祝いする日」となります。2世紀～4世紀頃のヨーロッパは、キリスト教が広まりはじめたローマ帝国時代。ペルシャから太陽信仰の性格を持つミトラス教という宗教が伝わってきました。そして、このミトラス教には「光の祭り」という大切な行事があり、一年で最も昼間が短くなる冬至の12月25日頃に行われていました。冬至を境に再び昼間が長くなっていく、すなわち、太陽の力が強まっていくことを祝っていました。また、ローマ帝国の土着の祭りとして、12月25日前後に農耕の儀式が執り行われていました。そこでローマ皇帝はイエス・キリストを「光」に例え、「光（太陽）の復活はキリストの復活」とし、土着の祭りを吸収する形で、12月25日をキリストの降誕祭に制定します。これが「クリスマスの歴史」とのこと。ときには、雄大な歴史の流れに思いを馳せることもいいかもしれません。そして、コロナ禍も世界の戦禍も、一日も早く「過去の歴史」となることを祈ります。

今週の元日  
 今日は、ほかほかにたくさん納品することができました。みんなが協力してがんばっています。  
 手描のイラストを厚紙に写し取って、車内で厚紙を写しています。

おもいやり  
 カタログ販売の配布が始まり、おん子のみなさんも大活躍!!  
 マスクをし、元気にあいさつをし、「ありがとうございます」と頑張り続けます。

12月7日  
 ほこや、温室作業に皆さんで取り組んでいます。回収先に関して下さる方々と交換を交えています。  
 ネコの手紙の取材を市民タイムスさんが以下しました。記事に載るのが楽しみです。広告の頂き、購入の足踏を期待しています。

☆つくりや☆  
 9月から始めたりんご箱つくり作業が、今年も終了しました。  
 ラインに集った流れてくるりんごを、ラインに集ったせんどん箱に入れられました。皆、この仕事が好きと言ってくれています。来年もがんばります!!